

# 世界を旅するウナギ

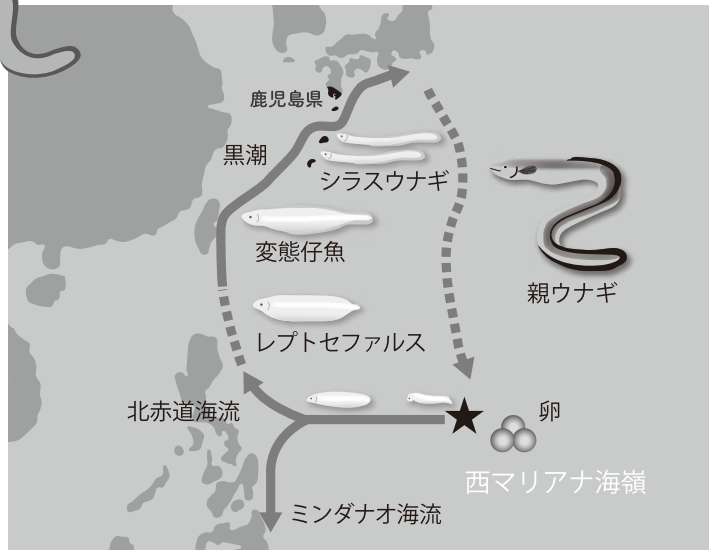
ウナギの生態はこれまで謎でしたが、近年の研究で、産卵場が太平洋の西マリアナ海嶺付近だと特定されています。

卵からかえったシラスウナギ(ウナギの稚魚)は、北赤道海流と黒潮に乗って東アジア近海を回遊。その距離なんと約2千から3千キロメートル。

日本にたどり着いたウナギは、鹿児島のほか、宮崎、高知、静岡をはじめとする各地の川をさかのぼります。川や内湾で約5年から10年生活し、秋から冬に川を下って産卵のため海を渡っていくのです。

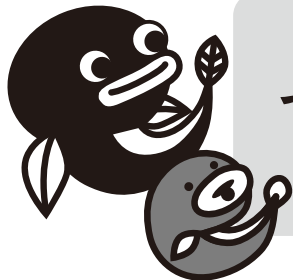
私たちが食するまでに、長い海路を旅するウナギ。  
しかし、その謎の生態はまだ詳しく解明されていません。

## ニホンウナギの回遊経路



(参考: 塚本勝巳・東京大学大気海洋研究所)

シラスウナギ (実寸大)



**採捕  
できない  
ウナギ**

サイズ	全長 21 cm 以下のウナギ	全長 21 cm を超えるウナギ
採捕禁止期間	年間 (鹿児島県内水面漁業調整規則第26条および 鹿児島県漁業調整規則第36条)	産卵のために海に向かう 10月~2月の5ヶ月間 (鹿児島県内水面漁場管理委員会などの委員会指示)
禁止エリア	県内の河川、池、沼などの内水面および海面	県内の河川、池、沼などの内水面および海面 (奄美群島を除く)

**平成29年度から  
5ヶ月間に拡大!**

※違反した場合、罰則が適用されることがあります。